

ミライの学校を創るプロジェクト News No.12

10月14日(金)に第7回学校開校準備委員会を開催し、「校舎整備」を中心に説明・意見交換を行いました。

校舎整備について

- ・「図書館の地域開放時間」や「敷地内広場の活用方法」等について意見交換を行いました。

■図書館の地域開放に関する主な意見

○地域開放時間について

- ・学校優先の開放スケジュールにすべき。
- ・午前中は学校で使うことが望ましい。
- ・地域の園への開放や、就学前の子どもたちへの読み聞かせなどで、午前中に開放するのは良いと思う。
- ・放課後の時間帯は、利用者があまりいないのではないか。

○地域開放の曜日について

- ・土日のみの開放が良いのではないか。
- ・土日のどちらかだけでも良いのではないか。
- ・平日の開放は、週2回程度が良い。

○その他の意見

- ・学校に負担のかからない管理方法にすべき。
- ・児童生徒と一般利用者が同時に利用するのは、セキュリティの面で良くない。
- ・できるだけ地域開放してほしい。
- ・利用者のターゲットを明確にする必要がある。
- ・小さい子ども用の設備が必要。
- ・児童図書を外の広場で読めるなどの仕掛けがあっても良い。



■敷地内広場の活用方法に関する主な意見

○芝生広場

- ・芝生に寝転がったり、お弁当を食べたりできれば魅力的。
- ・管理が大変なので、人工芝や野芝など管理しやすさが重要。

○学校菜園

- ・小さい子どもたちや、地域との交流にも活用しやすい。
- ・花壇なども合わせて設置できれば良い。

○その他

- ・学校としての活用を第一とし、それを地域でも使えるという考え方が必要。
- ・多用途に活用できるような形が良いのではないか。
- ・子どもたちの作品が見れるような、オープンギャラリーのような仕組みも良い。



⇒ 図書館の地域開放や敷地内広場の活用については、学校が利用しやすい形やセキュリティへの配慮を最優先に考えながら、準備委員会や教職員からの意見等を参考に、地域とのつながりを深めていけるような仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

通学路について（まち歩き）

- 11月12日（土）に（仮称）富秋学園の通学路検討として、まち歩きを実施しました。当日は、幸校区、池上校区、葛の葉町の3ルートに分かれて危険箇所などの確認を行いました。
- PTAや町会、民生委員、見守り隊、園長先生など、普段地域の子どもたちを見守っていたいる地域のみなさまにご参加いただきました。（参加者：17名）

幸校区

踏切や交差点などの危険箇所の確認や、市営住宅の工事期間における通学路の考え方などの視点も踏まえながら、まち歩きを行いました。



池上校区

踏切や地下道などの状況や、町内の細い道路などの確認、富秋中学校の周りの危険箇所についても確認を行いました。



葛の葉町

交差点の横断や、人目につきにくい道路などの確認を行うとともに、住宅開発により新たに道路ができている場所などについても確認を行いました。



- まち歩きの後、富秋中学校の図書館に集まり、各グループでの意見交換と全体での情報共有を行いました。意見交換では、今後の対策や新たなルートの提案など、児童生徒の登下校の安全の確保に対する様々な意見をいただきました。
- 今後は、いただいた意見を参考に、より適切なルートの検討を学校と連携して進めていきます。安全対策については、優先順位の検討を行いながら、ハード面の対策を進めていきますが、見守り隊など地域の方々との連携も不可欠であると考えています。
- 引き続き学校開校準備委員会で進捗状況を報告し、その内容をニュースレターでもお知らせしていきます。

ニュースレターをメール配信中！

ニュースレターの配信を希望される方は、右のQRコードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。

